

桶ヶ谷沼 樹木と木の実の観察会  
実施報告書

- 1 日 時：平成25年11月3日（日） 9：30～12：00
- 2 場 所：桶ヶ谷沼ビジターセンターと桶ヶ谷沼周辺
- 3 参加者：14人（うち子ども2人）
- 4 主 催：桶ヶ谷沼ビジターセンター
- 5 講 師：井上、高橋
- 6 概要

天気が心配されたが、穏やかで薄曇の歩くには好コンディションになった。9時半から10分ほど、井上講師による木の实（種子、果実）の機能や種類などについての解説が行われた後、観察ウオークに入った。

観察ウオークでは、樹木の名前はもとより、木の实、葉の構成、種類、冬芽の観方、葉痕の形など多岐にわたる解説が行われた。樹木にあまり馴染みのない参加者もいたが、「樹木も面白い」という感想も聞かれた。講師の説明にメモをとりながら熱心に聴き入る姿も目立った。他の観察会でメモをとる参加者を見るのは少ないので、講師にはやりがいを感じさせる。ビジターセンターの方からは、大変有意義で参考になる観察会であったとの感想が述べられた。

年初の「森で遊ぶ会」の際には、シロアリ被害で危ないと言われたハンノキ並木の先の木道は立派に修復され、安全に歩くことができた。探鳥展望台からはマガモがかなりの数観られたが、ほかの冬鳥の飛来はこれからというところであった。



シロダモ